

『寄付白書2025』正誤表(2025年12月10日時点)

このたびは『寄付白書2025』をお読みいただき、誠にありがとうございます。
本白書の一部に誤りがございました。ここにお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。

日本ファンドレイジング協会

記

1. 11 ページ(インフォグラフィック)「02. 寄付を問い直す」寄付についての考え方の変化

【正】

「将来資産があれば、亡くなる際に一部を遺贈寄付してもよいと思う」

寄付白書2021:42.3%

寄付白書2025との差の表示:+2.5ポイント

「寄付したお金がきちんと使われているのか不安に感じる」

寄付白書2025:74.1%

寄付白書2021からの変化:-3.1ポイント

【誤】

「将来資産があれば、亡くなる際に遺贈寄付してもよいと思う」

寄付白書2021:42.4%

寄付白書2025との差の表示:+2.4ポイント

「寄付したお金がきちんと使われているのか不安に感じる」

寄付白書2025:70.4%

寄付白書2021からの変化:-6.8ポイント

※「寄付白書2025」100ページの章に記載の数値は正しいものです。

2. 50 ページ(図2-2)「日本の遺贈寄付の推移」

【正】

- ・本図が示す「この10年間で約2.8倍に増加」は、2013年と2022年の比較にもとづくものである。
- ・2009年の件数:437件

【誤】

- ・矢印が2009年と2022年の比較になっている。
- ・2009年の件数:431件

3. 本文および索引における「中央共同募金会」との誤表記について

以下の該当箇所において、「中央共同募金会」と記載している箇所は、すべて、「共同募金会」と訂正します。

【該当箇所】

- 70ページ(表内「カテゴリー2」)
- 70ページ(5つめのナカグロ(・)内)
- 74ページ(表内「カテゴリー2」)
- 76ページ(本文16行目、19行目、22行目)
- 80ページ(本文12行目、18行目、19行目)
- 83ページ(図3-8「分野別 寄付者率・会費支出者率(複数回答)」)
- 92ページ(本文9行目)
- 93ページ(表3-10「分野別にみた金銭寄付のきっかけ(複数回答)」)
- 94ページ(本文8行目)
- 153ページ(索引用語・た行)

4. 付録における記載内容の誤りについて

【該当箇所】

- 142ページ「1-1. 既存データの問題点・限界点」

【正】

…両調査における「寄付金」の定義は「世帯以外の団体などへの寄付金、祝儀などの移転支出。一般的寄付金、共同募金、ふるさと納税、バザー現金寄付」である…

【誤】

…両調査における「寄付金」の定義は「世帯以外の団体などへの寄付金、祝儀などの移転支出。一般的寄付金、赤十字社員会費(加入金)、社会福祉協議会会費、一般的行事の寄付金、学生のいない場合の学校寄付金、共同募金(割当金を含む)、バザー現金寄付、祭礼の寄付・祝儀」である…

【該当箇所】

- 145ページ「③既存統計を用いて寄付額を把握」

【正】

共同募金への寄付については実績額を用いる。共同募金の寄付額は2024年度の実績額165億2,190万円から、法人募金19億5,050万円を除いた金額145億7,140万円を用いた(中央共同募金会、2025)。…

【誤】

共同募金への寄付については実績額を用いる。共同募金の寄付額は2024年度の実績額165億2,190万円から、法人募金19億5,050万円を除いた金額145億7,140万円を用いた(中央共同募金会、2025)。共同募金において、実績額における会費と寄付の区分はできないため、推計は寄付のみで、会費総額は把握できない。…

以上